

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	総合的な学習の時間推進事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	指導課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	西村 淳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校25校	意図	子どもたち一人ひとりが、各教科等の学習で得た個々の知識を結び付け、総合的に働かせることができるようにする。
事業内容	小中学校の教育課程内で実施される「総合的な学習の時間（特色ある教育）」を実施していくうえで、調べ学習やまとめの学習の際、レポート作成やプレゼンテーション作成等学習充実に必要な教材等の費用を支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	総合的な学習の時間において、それぞれの地域や学校、子どもたちの実態に応じた学校の創意工夫を生かした活動が展開されている。新学習指導要領においても、その理念が引き継がれるとともに、子供達が主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、学校ごとに「特色のある教育」の具体的な取り組みが求められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	市内小中学校学級数	363	385	468	学級	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	教材等の費用を支援する事により、総合的な学習の時間における教育活動が充実した内容となった。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,057,019	3,079,969	3,397,350
事業費(b)(円)	1,340,769	1,401,969	1,749,350
うち一般財源	1,340,769	1,401,969	1,749,350
職員給与費(c)(円)	1,716,250	1,678,000	1,648,000
人役・職員(人)	0.25	0.25	0.25
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

子どもたち一人ひとりが、自ら学び、自ら考える力を育成することができている。
各教科等の学習で得た個々の知識を結び付け、総合的に働かせることができ、学び方や調べ方を身に付けることができている。自己表現力も向上してきている。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	各学校の具体的な取り組みに即した支援をすることによって、一人ひとりの子どもたちの探求学習や体験内容の充実を図る。	③取組における課題(Check)	総合的な学習の時間をはじめとして、各学校の「特色ある教育」の充実整備のため、教材等の費用の支援をより充実させる必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	総合的な学習の時間等、各学校の「特色ある教育」の充実整備のため、教材等の費用を支援した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	各学校の具体的な取り組みへの支援をより充実させる。